2022年度学生による後期授業評価アンケートへの

教員からのコメント

■社会調査論

- ① 全般的に評価が高い傾向にあることから、概ね問題はないものと考えられる。
- ② ただし「7～10.」の理解しやすさや聞き取りやすさに関する質問項目で、4名(42.9%)～5名(57.1%)が「どちらとも言えない」と回答していることから、必ずしも説明等のレベルが適切でなかった可能性がある。

しかしながら、「16～18.教員設定項目」において質問内容が未設定にもかかわらず、「そう思う」と「どちらとも言えない」という無意味な回答が計4名(57.2%)によってなされていることや、「19～20.自由記述」において各2名が日本語としてやや不自然な文章を記述していることから、高い確率で、もともと日本語を十分理解できない留学生による回答が大部分を占めていたとも推測される。授業内容というより日本語のみでの授業形態であることが本質的な問題だとすると、他の学生の学修の質保証という観点からは、説明のレベルを過剰に下げるわけにもいかず、これ以上の対応は事実上制限される面があるのも事実である。